

科目名	臨床医学特講 1							年度	2026
英語科目名	Clinical Medicine Special Lecture 1							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 3年次	必/選	必	時間数	45	単位数	3	種別※	講義
担当教員	木本丈晴/矢野恭一郎		教員の実務経験	有	実務経験の職種		鍼灸師		

【科目の目的】

- ・ 筋骨格系や神経系について、局所解剖学的に捉えることができる
- ・ 運動器の障害の発生原因、病態、予防方法を説明できる
- ・ 運動器の障害を機能解剖学的に捉えることができる

【科目の概要】

局所解剖学的なイメージを構築するため、運動器の障害を機能解剖学的に捉えるために、筋骨格系と神経系の構造と機能を説明します
 日常よく遭遇する運動器の障害について説明します
 ①授業前に配布される資料を使って予習 ②各回の授業内容に沿ったテストの実施 ③解答・解説 ④資料を使って復習
 ①→②→③→④のルーティンで授業展開し理解を深めます

【到達目標】

- A: 筋骨格系、神経系について、局所解剖的に理解している
 B: 腰痛症について、その発生原因、病態、予防法を理解し、機能解剖学的に捉えることができる
 C: 肩関節周囲炎について、その発生原因、病態、予防法を理解し、機能解剖学的に捉えることができる
 D: 肩こりについて、その発生原因、病態、予防法を理解し、機能解剖学的に捉えることができる
 E: 下肢の運動器の障害について、その発生原因、病態、予防法を理解し、機能解剖学的に捉えることができる

【授業の注意点】

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません
 教科書と配布プリントをよく理解し、予習・復習を行うこと

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	筋骨格系、神経系について、局所解剖的に理解している	末梢神経の走行を理解している	筋の起始・停止、作用、神経支配を理解している	骨の位置、形態的特徴、関節の構成を理解している	骨の位置、形態的特徴、関節の構成を理解していない
到達目標 B	腰痛症を機能解剖学的に捉えることができる	腰痛症の予防法を理解している	腰痛症の発生原因と病態を理解している	腰殿部ならびに下肢の機能解剖を理解している	腰殿部ならびに下肢の機能解剖を理解していない
到達目標 C	肩関節周囲炎を機能解剖学的に捉えることができる	肩関節周囲炎の予防法を理解している	肩関節周囲炎の発生原因と病態を理解している	肩の機能解剖を理解している	肩の機能解剖を理解していない
到達目標 D	肩こりを機能解剖学的に捉えることができる	肩こりの予防法を理解している	肩こりの発生原因と病態を理解している	頸部ならびに肩の機能解剖を理解している	頸部ならびに肩の機能解剖を理解していない
到達目標 E	下肢の運動器の障害を機能解剖学的に捉えることができる	下肢の運動器の障害の予防法を理解している	下肢の運動器の障害の発生原因と病態を理解している	下肢の機能解剖を理解している	下肢の機能解剖を理解していない

【教科書】

解剖学 生理学/東洋療法学校協会編

【参考資料】

臨床医学各論/東洋療法学校協会編 配布プリント

【成績の評価方法・評価基準】

学期末に行う定期試験で評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		臨床医学特講 1			年度	2026
英語表記		Clinical Medicine Special Lecture 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	骨学・筋学概論	骨・筋の基本的な構造、分類を理解する	1 組織学	骨・筋の組織学的構造を理解している	3	
			2 骨学	骨の形状、連結の種類、発生を理解している		
			3 筋学	筋の形状、補助装置を理解している		
2	体幹の骨	体幹を構成する骨の位置、形態、連結を理解する	1 骨の位置	全身骨格のどこに存在するか理解している	3	
			2 骨の形態	骨の形態的特徴を理解している		
			3 骨の連結	関節の構成、種類、補強靭帯を理解している		
3	体幹の筋・末梢神経	体幹にある筋の走行、作用、支配神経を理解する	1 筋の起始・停止	筋の位置、走行を理解している	3	
			2 筋の作用	筋の作用を理解している		
			3 筋の支配神経	筋の支配神経とその走行を理解している		
4	体幹の運動器の障害	腰痛症の発生原因、病態、予防法を理解する	1 発生原因	腰痛症の発生原因と分類を理解している	3	
			2 病態	腰痛症の病態を理解している		
			3 予防法	腰痛症の予防法を理解している		
5	上肢の骨	上肢を構成する骨の位置、形態、連結を理解する	1 骨の位置	全身骨格のどこに存在するか理解している	3	
			2 骨の形態	骨の形態的特徴を理解している		
			3 骨の連結	関節の構成、種類、補強靭帯を理解している		
6	上肢の筋・末梢神経	上肢にある筋の走行、作用、支配神経を理解する	1 筋の起始・停止	筋の位置、走行を理解している	3	
			2 筋の作用	筋の作用を理解している		
			3 筋の支配神経	筋の支配神経とその走行を理解している		
7	上肢の運動器の障害	肩関節周囲炎の発生原因、病態、予防法を理解する	1 発生原因	肩関節周囲炎の発生原因と分類を理解している	3	
			2 病態	肩関節周囲炎の病態を理解している		
			3 予防法	肩関節周囲炎の予防法を理解している		
8	下肢の骨	下肢を構成する骨の位置、形態、連結を理解する	1 骨の位置	全身骨格のどこに存在するか理解している	3	
			2 骨の形態	骨の形態的特徴を理解している		
			3 骨の連結	関節の構成、種類、補強靭帯を理解している		
9	下肢の筋・末梢神経	下肢にある筋の走行、作用、支配神経を理解する	1 筋の起始・停止	筋の位置、走行を理解している	3	
			2 筋の作用	筋の作用を理解している		
			3 筋の支配神経	筋の支配神経とその走行を理解している		
10	下肢の運動器の障害	下肢の運動器の障害を理解する	1 変形性関節症	発生原因、病態、予防法を理解している	3	
			2 捻挫（靭帯損傷）	発生原因、病態、予防法を理解している		
			3 肉離れ	発生原因、病態、予防法を理解している		
11	頭頸部の骨	頭頸部を構成する骨の位置、形態、連結を理解する	1 骨の位置	全身骨格のどこに存在するか理解している	3	
			2 骨の形態	骨の形態的特徴を理解している		
			3 骨の連結	関節の構成、種類、補強靭帯を理解している		
12	頭頸部の筋・末梢神経	頭頸部にある筋の走行、作用、支配神経を理解する	1 筋の起始・停止	筋の位置、走行を理解している	3	
			2 筋の作用	筋の作用を理解している		
			3 筋の支配神経	筋の支配神経とその走行を理解している		
13	頭頸部の運動器の障害	肩こりの発生原因、病態、予防法を理解する	1 発生原因	肩こりの発生原因と分類を理解している	3	
			2 病態	肩こりの病態を理解している		
			3 予防法	肩こりの予防法を理解している		
14	中枢神経系の構造	中枢神経系の構造を理解する	1 脊髄	脊髄の構造を理解している	3	
			2 脳幹	脳幹の構造を理解している		
			3 大脳	大脳の構造を理解している		
15	中枢神経系の障害と運動器の障害	中枢神経系の障害に伴う運動器の障害を理解する	1 脊髄損傷	脊髄損傷に伴う運動器の障害を理解している	3	
			2 脳血管疾患	脳血管疾患に伴う運動器の障害を理解している		
			3 パーキンソン病	パーキンソン病に伴う運動器の障害を理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等

科目名	臨床医学特講 1							年度	2026
英語科目名	Clinical Medicine Special Lecture 1							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 3年次	必/選	必	時間数	45	単位数	3	種別※	講義
担当教員	木本丈晴/矢野恭一郎		教員の実務経験	有	実務経験の職種		鍼灸師		

【科目の目的】

中医学概論1、2で得た、中医学の基礎知識をもとに、診察学、弁証論治、処方学の知識を上乘せし、臨床実践へと繋げられるようにする。

【科目の概要】

診察学(四診)、処方学の知識を習得し、各疾患に対し、弁証論治と処方ができる。

【到達目標】

- A: 四診の知識を理解、把握する
- B: 処方学の知識を習得し、処方が出来る
- C: 気血津液弁証の弁証論治が出来る
- D: 臓腑弁証の弁証論治が出来る
- E: 各疾患に対して、弁証論治が出来る

【授業の注意点】

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	四診を理解し、把握が出来た(100%)	四診を90～80%程度理解することが出来た	四診を80～70%程度理解することが出来た	四診を70～60%程度理解することが出来た	四診を60%以下の理解にとどまった
到達目標 B	処方学の知識を習得出来た(100%)	処方学の知識を90～80%習得出来た	処方学の知識を80～70%習得出来た	処方学の知識を70～60%習得出来た	処方学の知識が60%以下の習得にとどまった
到達目標 C	気血津液弁証を理解把握し、弁証論治が出来る(100%)	気血津液弁証を90～80%理解し、弁証論治が出来る	気血津液弁証を80～70%理解し、弁証論治が出来る	気血津液弁証を70～60%理解し、弁証論治が出来る	気血津液弁証の理解が60%以下であり、弁証論治が出来ない
到達目標 D	臓腑弁証を理解把握し、弁証論治が出来る(100%)	臓腑弁証を90～80%理解し、弁証論治が出来る	臓腑弁証を80～70%理解し、弁証論治が出来る	臓腑弁証を70～60%理解し、弁証論治が出来る	臓腑弁証の理解が60%以下であり、弁証論治が出来ない
到達目標 E	各疾患の弁証論治が出来た(100%)	各疾患の弁証論治が90～80%程度出来た	各疾患の弁証論治が80～70%程度出来た	各疾患の弁証論治が70～60%程度出来た	各疾患の弁証論治が60%以下程度にとどまった

【教科書】

自作プリント、東洋医学概論 医道の日本社、東洋医学臨床論 南江堂、問診のすすめ 東洋医学術出版社

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

期末試験(100%)

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		臨床医学特講 1			年度	2026
英語表記		Clinical Medicine Special Lecture 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	中医学概論1.2の復習	中医学概論1.2の知識の習得を確認する	1 虚実寒熱の確認	虚実寒熱を理解している	1	
			2 気血津液の確認	気血津液を理解している		
			3 臓腑経絡の確認	臓腑経絡を理解している		
2	四診	舌診、脈診を中心に四診の知識を習得する	1 舌診	舌診が理解出来た	1	
			2 脈診	脈診が理解出来た		
			3 その他の四診	四診が理解出来た		
3	処方学	処方学の知識を習得する	1 要穴の意味を知る	要穴の意味を理解出来た	1	
			2 配穴法を知る	配穴法を理解出来た		
			3 治則を知る	治則を理解出来た		
4	処方学	処方学の知識を習得する	1 要穴の意味を知る	要穴の意味を理解出来た	1	
			2 配穴法を知る	配穴法を理解出来た		
			3 治則を知る	治則を理解出来た		
5	各論/頭痛	頭痛に対する、主な弁証論治を習得する	1 弁証論治	主な弁証論治を理解把握出来た	1	
			2 処方	弁証論治に対し、処方を出せた		
			3 処方穴の意味	処方穴の意味が理解出来た		
6	各論/耳鳴り・難聴	耳鳴り・難聴に対する、主な弁証論治を習得する	1 弁証論治	主な弁証論治を理解把握出来た	1	
			2 処方	弁証論治に対し、処方を出せた		
			3 処方穴の意味	処方穴の意味が理解出来た		
7	各論/耳鳴り・難聴	耳鳴り・難聴に対する、主な弁証論治を習得する	1 弁証論治	主な弁証論治を理解把握出来た	1	
			2 処方	弁証論治に対し、処方を出せた		
			3 処方穴の意味	処方穴の意味が理解出来た		
8	各論/咳嗽	咳嗽に対する、主な弁証論治を習得する	1 弁証論治	主な弁証論治を理解把握出来た	1	
			2 処方	弁証論治に対し、処方を出せた		
			3 処方穴の意味	処方穴の意味が理解出来た		
9	各論/鼻閉鼻汁	鼻閉鼻汁に対する、主な弁証論治を習得する	1 弁証論治	主な弁証論治を理解把握出来た	1	
			2 処方	弁証論治に対し、処方を出せた		
			3 処方穴の意味	処方穴の意味が理解出来た		
10	各論/食欲不振	食欲不振に対する、主な弁証論治を習得する	1 弁証論治	主な弁証論治を理解把握出来た	1	
			2 処方	弁証論治に対し、処方を出せた		
			3 処方穴の意味	処方穴の意味が理解出来た		
11	各論/悪心嘔吐	悪心嘔吐に対する、主な弁証論治を習得する	1 弁証論治	主な弁証論治を理解把握出来た	1	
			2 処方	弁証論治に対し、処方を出せた		
			3 処方穴の意味	処方穴の意味が理解出来た		
12	各論/腹痛	腹痛に対する、主な弁証論治を習得する	1 弁証論治	主な弁証論治を理解把握出来た	1	
			2 処方	弁証論治に対し、処方を出せた		
			3 処方穴の意味	処方穴の意味が理解出来た		
13	各論/便秘・下痢	便秘・下痢に対する、主な弁証論治を習得する	1 弁証論治	主な弁証論治を理解把握出来た	1	
			2 処方	弁証論治に対し、処方を出せた		
			3 処方穴の意味	処方穴の意味が理解出来た		
14	各論/便秘・下痢	便秘・下痢に対する、主な弁証論治を習得する	1 弁証論治	主な弁証論治を理解把握出来た	1	
			2 処方	弁証論治に対し、処方を出せた		
			3 処方穴の意味	処方穴の意味が理解出来た		
15	前期総復習	前期で得た知識を確認する	1 弁証論治	主な弁証論治を理解把握出来た	1	
			2 処方	弁証論治に対し、処方を出せた		
			3 処方穴の意味	処方穴の意味が理解出来た		

評価方法：1. 口頭確認、2. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等